



愛媛県庁本館は、知事が仕事をしている庁舎としては、
全国で3番目に古い建物で、昭和4年に完成しました。

ドームを中心に左右対称で建てられており、空から見ると、
鳥が翼を広げたような形になっています。

内部には、知事が仕事をする「知事室」をはじめ、
天皇陛下など県の特にお客様をお迎えする「貴賓室」、
表彰などの式典を行う「正庁」などがあり、
シャンデリアやステンドグラスなどの装飾が施されているほか、
建設当時としては珍しいエレベーターや
当時のままの電話ボックスなど見所がたくさんあります。

また、正面玄関を入ったところにあるロビーの床は、
白と黒の大理石でできていて、よく見ると巻貝の
化石がいくつも隠れています。



せいちよう
◆正庁(4階)

「正庁」とは、「正面の大広間」という
意味で、現在で言えば講堂です。式典
を行う部屋であり、柱の上には彫刻と
鷲が取り付けられています。



き ひんしつ
◆貴賓室(3階)

2つある大理石でできた暖炉は、
建設当時から電気式の暖房でした。
(現在は使用されていません。)



でん わ
◆電話ボックス(2階)

建設当時の様子
を伝えています。
(中にはレトロな電話
も設置しています。)

◆県庁本館のプロフィール

- 建設開始: 昭和2年11月11日
- 完成: 昭和4年2月9日
- 愛媛県が誕生してから4代目の庁舎
- 鉄筋コンクリート造 4階建て
- 広さ(建築面積): 2,030㎡
- 高さ: 32.6m
- 幅(東西の長さ): 約80m
- 奥行(南北の長さ): 約43m
- 建築にかかった金額: 102万円

※今のお金に換算すると100～120億円

- 設計者の「木子七郎」は、萬翠荘(旧松山藩主・
ひさまつ さだこと はくしゃくべつてい いしざきせん
久松定謨 伯爵別邸)や石崎汽船本社(松山市三
津)も設計
- 国登録有形文化財に登録(令和3年2月26日)

